授業科目　栄養教育論Ⅱ

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	栄養
斎藤トシ子	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【一般目標：GIO】

身体的、精神的、社会的状況等ライフステージ及びライフスタイルに応じた栄養教育のあり方、方法を学ぶ。

【行動目標：SBO】

1.妊娠・授乳期の栄養教育の基本を知る。
2.乳・幼児期の栄養教育の基本を知る。
3.学童期の栄養教育の基本を知る。
4.思春期・青年期の栄養教育の基本を知る。
5.成壮年期の栄養教育の基本を知る。
6.高齢期の栄養教育の基本を知る。
7.障害者への栄養教育の基本を知る。
8.食環境づくりと栄養教育、栄養教育国際動向を知る

回数	授業計画又は学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	栄養教育Ⅰの復習。　栄養教育Ⅱのオリエンテーション		
2	妊娠・授乳婦への栄養教育（母性栄養の意義と特性、栄養教育の目標等）	1.	講義
3	乳児への栄養教育（乳児の特性、離乳と栄養教育等）	2.	講義
4	幼児・学童への栄養教育（幼児期の特性、食育の要点等）	2.3	講義
5	幼児・学童への栄養教育（学校栄養士の役割）	3	講義
6	思春期の栄養教育（思春期の特性、栄養教育の要点等）	4.	講義
7	思春期・青年期栄養教育（スポーツ実施者への栄養教育の要点等）	4.	講義
8	成壮年期の栄養教育（今後の保健指導、肥満者への栄養教育の要点）	5.	講義
9	成壮年期の栄養教育（高血糖、糖尿病者への栄養教育の要点等）	5.	講義
10	成壮年期の栄養教育（高脂血症、高血圧者への栄養教育の要点等）	5.	講義
11	成壮年期の栄養教育（多量飲酒者、単身生活者への栄養教育の要点等）	5.	講義
12	高齢者への栄養教育（高齢期の特性、介護予防サービスの概要）	6.	講義
13	障害者への栄養教育	7.	講義
14	食環境づくりと栄養教育、栄養教育国際動向	8.	講義

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書（必ず購入する書籍）	健康・栄養科学シリーズ　栄養教育論	丸山千寿子	南江堂	2005年　¥3,200＋税
参考書	必要に応じてプリントを配布			
その他の資料				

【評価方法】	【履修上の留意点】
出席状況、授業中の態度、課題発表、定期試験から総合的に評価する。	